

研究課題名	過去10年における関節突起骨折の臨床的検討
実施責任者	所属・職名： 歯科口腔外科 医員
	氏名： 林 宏紀
研究の概要	顎の関節の骨折の治療に関しては年齢、骨折の種類、周囲神経損傷のリスク、見た目の問題、咬み合わせのずれを考える必要がありますが、顎の関節の構造は複雑なので治療の方針についての具体的なガイドラインはありません。今回われわれは、過去10年における顎の関節の骨折に対する治療の状況を把握するため、入院で治療する患者様を報告します。
対象となる個人情報	年齢、性別、既往歴、受傷原因、顎骨レントゲン写真、血液検査
実施の期間	西暦 2009 年 01 月 01 日より
	西暦 2018 年 12 月 31 日まで
研究対象	当院歯科口腔外科を受診し、関節突起骨折と診断し、入院下での管理で治療を行う患者様を対象とします。